

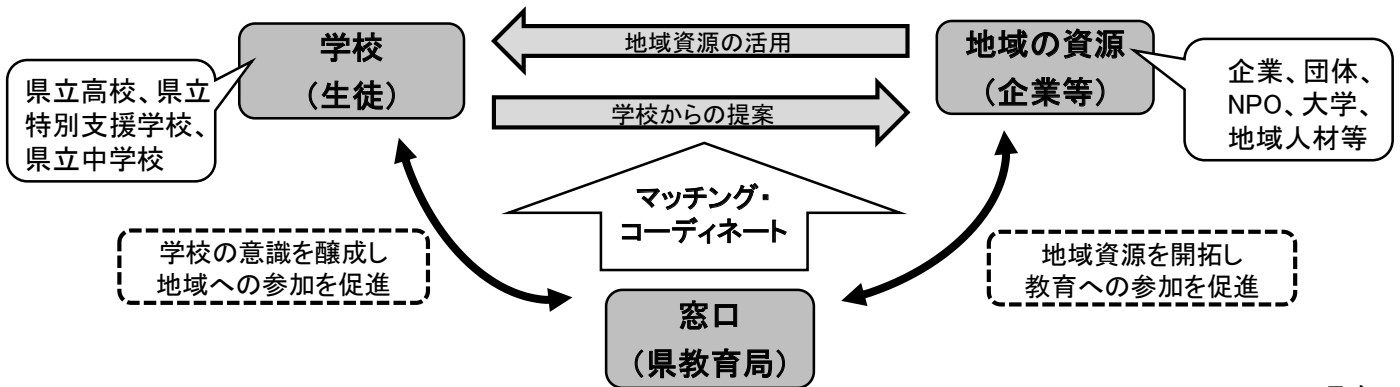
教育プログラム

【教育プログラムとは】

- ・学校と地域（企業・NPOなど）が連携・協働する教育活動の手法であり、教育効果、目的、展開方法などを定めたものをいいます。
- ・ご確認いただき、マッチング等ご希望の際は、生涯学習推進課地域連携担当（048-830-6979）までご連絡をお願いします。
なお、教育プログラムは、ホームページ等にも掲載しております。

No.	教育プログラム一覧（「企業・団体名」～プログラム名～）
①	「株式会社 ローソン」～埼玉県の生徒とタイアップした商品開発（包括的連携協定10周年記念）
②	「SMBCコンシューマーファイナンス 株式会社」～PROMISE 金融経済教育セミナー～
③	「一般社団法人 日本ゆめ教育協会」～ワクワクゆめ教室～クラスのチーム力で夢発見&夢発表～
④	「清水建設 株式会社」～シミズ・オープン・アカデミー「テクニカルツアー」～
⑤	「NPO法人 16歳の仕事塾」～職業人へのインタビューワークショップ～
⑥	「NPO法人 16歳の仕事塾」～チームコンセンサス・ワークショップ～
⑦	「NPO法人 16歳の仕事塾」～夏休み・プレゼンテーションプログラム～
⑧	「NPO法人 16歳の仕事塾」～勤労観・職業観ワークショップ～
⑨	「NPO法人 16歳の仕事塾」～社会人基礎力ワークショップ～
⑩	「野村ホールディングス 株式会社」～Nomuraビジネス・チャレンジ～
⑪	「野村ホールディングス 株式会社」～自分の将来とお金のお話～
⑫	「野村ホールディングス 株式会社」～投資って何？～
⑬	「埼玉県保健医療部健康長寿課」～妊娠・不妊に関する出前講座～
⑭	「田辺三菱製薬 株式会社」～くすり、製薬会社の仕事について～
⑮	「株式会社 アドバンスサービス」～企業経営者との意見交換～
⑯	「CSリレーションズ 株式会社」～現役社長、または人事部長から学ぶ「おもしろい人生の描き方」（参加型授業）～
⑰	「株式会社 トモノカイ」～一生使える探究のコツ～
⑱	「丸紅 株式会社」～「未来をつくろう！」楽しいアイデアを創出して、ビジネスを立ち上げる！～
⑲	「（一財）言語交流研究所 ヒッポファミリークラブ」～「世界のことばで話そう！」～多言語・多文化・多様性を楽しむ！～
⑳	「第一生命保険 株式会社」～すぐろくで将来を体験！ライフサイクルゲーム2.～生涯設計のススメ～
㉑	「特定非営利活動法人 日本ピーススマイル協会」～自己肯定感とコミュニケーション力UPで、生きる力・社会に出ていく力を磨く～
㉒	「一般社団法人 ディレクトフォース」～生徒参加のパネルディスカッション～
㉓	「一般社団法人 ディレクトフォース」～企業経営者との意見交換～
㉔	「東京証券取引所」～授業支援プログラム～シエア先生の経済教室～
㉕	「東京証券取引所」～授業支援プログラム～ボードゲーム【ブルサ】～
㉖	「NPO法人 コモンビート」～表現を通じて学ぶ、異文化理解・多様性「世界のダンス教室」～
㉗	「一般社団法人 グローバル教育情報センター」～英字新聞制作プロジェクト～
㉘	「株式会社 ファーストリテイリング（ユニクロ・ジーユー）」～“届けよう、服のチカラ”プロジェクト～
㉙	「公益財団法人 日本漢字能力検定協会」～社会で求められるコミュニケーション力と漢字の重要性～
㉚	「公益財団法人 日本漢字能力検定協会」～社会に出てからも活用できる～伝わる文章作成の“コツ”～
㉛	「特定非営利活動法人 国連UNHCR協会」～出張授業/学習訪問～
㉜	「一般社団法人 日本乳業協会」～わくわくどきどきミルク教室（食育活動）～
㉝	「公益財団法人 AFS日本協会」～AFS国際理解教育出前授業（異文化を学ぼう）～
㉞	「東武トップツアーズ 株式会社」～首都圏外郭放水路を軸とした春日部市観光誘致アイデア募集～
㉟	「社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会」～出張介護授業～
㊱	「株式会社 セブンイレブン・ジャパン」～就労支援研修（接客業体験）～
㊲	「Japan Education Lab」～探してみよう！半径5mの社会課題～
㊳	「Japan Education Lab」～人を惹きつける伝えかた～
㊴	「Japan Education Lab」～自分のオリジナルキャッチコピーを創ろう～
㊵	「埼玉県県民生活部消費生活課」～高校生と連携した消費者問題学習・防止プロジェクト～
㊶	「株式会社ファミリーマート」～SDGsに対する企業の取組～今できることから始めよう～
㊷	「公益財団法人 生命保険文化センター」～生活設計とリスクへの備え～
㊸	「公益財団法人 生命保険文化センター」～事例から考えるリスクマネジメント～
㊹	「公益財団法人 生命保険文化センター」～自助・共助・公助について考えよう～
㊺	「公益財団法人 生命保険文化センター」～ほけんのキホン for Beginners～
㊻	「三井住友海上火災保険 株式会社」～未来の大人へのSDGsの基本～
㊼	
㊽	
㊾	
㊿	

地域(企業・NPO等)に、学校教育で活用できる教育プログラムを提供してもらい、教育局職員が学校と地域をマッチングする



※R3.2現在

プログラム	①埼玉県の生徒とタイアップした商品開発(包括的連携協定10周年記念)
内 容	<ul style="list-style-type: none"> 商品企画・商品仕様・パッケージ作成・店頭販売までを体験。 株式会社ローソンの概要・販売戦略・マナー、サービス等についての講話(要相談)。 商品開発企画書の作成(グループ単位等)→商品のプレゼンテーション(10分・試作品の提供可)→選考された商品(1品)をメーカーで商品化(試作→検討→修正の繰り返し)→パッケージデザインの作成(複数の検討会実施)→店舗販売(販売方法の検討)。
会 社 名	株式会社ローソン

プログラム	②PROMISE 金融経済教育セミナー
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ■対象：高校・専門学校・大学(短期大学含む)・保護者 ■プログラムはご要望に応じ組み合わせが可能。 ■プログラム①「生活設計・家計管理」 <ul style="list-style-type: none"> ワークを通じ長期的なライフプランや家計管理を学習。 夢や目標の実現に向けて、ライフプランニングの必要性や日々の家計管理を行う際のポイントを紹介。 ■プログラム②「ローン・クレジット」 <ul style="list-style-type: none"> 商品の仕組みや契約にあたっての基本姿勢を学ぶ。 ローンやクレジットを利用する際のポイントやリスクを伝える。 ■プログラム③「金融トラブル」 <ul style="list-style-type: none"> 「カードトラブル」や「インターネットトラブル」といったトラブル事例や対策方法、情報の確認方法を学ぶ。 悪質業者の手口は日々巧妙化している。その備えとして具体事例を踏まえた情報や対策方法について紹介。
会 社 名	SMBCコンシューマーファイナンス株式会社

プログラム	③ワクワクゆめ教室～クラスのチーム力で夢発見＆夢発表
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ■授業概要：ゲームやワークを通して、楽しみながら夢を発見し、クラス全員で発表し合うワークショップ型の授業 ■講師：協会認定講師が担当 ■プログラムの流れ <ul style="list-style-type: none"> ・導入：講師自己紹介、授業のオリエンテーションを行う。 ・アイスブレイク：身体を動かし、心と体をリラックスさせ、発想しやすい状況にする。 ・GOOD!CLAP!SMILE!：イイネと拍手と笑顔で承認し合う雰囲気をつくる。 ・夢発見プログラム：ゲームやアクティビティを実施し、夢の種となるキーワードを書き出し、夢を見つけ、ひとつに絞った夢を具体的にイメージしカードに記入する。 ・夢発表＆ワクワクツリー作成：夢を書いたカードを持ってクラス全員の前で自分の夢とその理由を発表する。発表後、ワクワクツリーに夢カードを貼り付け、授業終了後もクラスに掲示し、お互いの夢を継続的に意識しあえるようにする。 ・まとめ＆夢コイン授与：夢発見＆夢発表への承認。夢を叶えるために大切なことを伝える。夢発見の証とアンカーとして夢コインを贈呈する。
会 社 名	一般社団法人 日本ゆめ教育協会

プログラム	④シミズ・オープン・アカデミー 「テクニカルツアー」
内 容	・座学で建設の仕組み、社会の中で建設業が果たす役割を学んだ後、実験施設などを見学し、技術を体感。
会 社 名	清水建設株式会社

プログラム	⑤職業人へのインタビューワークショップ
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・職業人とファシリテーターの2人がペアとなって進行。 ・1コマ目：職業人の話を聞く。ファシリテーターからインタビューの仕方を学ぶ。 ・2コマ目：生徒がグループになって、職業人にインタビューする。 ・ファシリテーターはクラス全体の進行、場づくりをする。
会 社 名	NPO法人16歳の仕事塾

プログラム	⑥チームコンセンサス・ワークショップ
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ボートで漂流中、どの道具をどう使うか優先順位を個人で考え決める。 ・チームで話し合い、合意形成を図り、チームとしての順位付けをする。 ・専門家による正解との誤差を出す。 ・少数意見を大切に話し合いができたかどうかなどが、点数で表される。
会 社 名	NPO法人16歳の仕事塾

プログラム	⑦夏休み・プレゼンテーションプログラム
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人や大学生向けの「プレゼンテーション基礎」を学ぶ。 ・「チームビルディング」のワークを体験し、良いチーム作りについて理解する。 ・チームで話し合い、納得解を得てプレゼン資料（パワーポイント）を作成する。 ・クラスでの予選プレゼンを経て、ファイナルプレゼンで最優秀チームを選出決定。
会 社 名	NPO法人16歳の仕事塾

プログラム	⑧勤労観・職業観ワークショップ
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目：社会の変化と仕事の変化について理解する。 グループワークで新しい仕事を想像、話し合い、発表する。 ・2コマ目：働き方の違い（正規社員、非正規社員、起業）について理解する。 厚労省のデータを使い、フリーターと正社員の違いについて学ぶ。
会 社 名	NPO法人16歳の仕事塾

プログラム	⑨社会人基礎力ワークショップ
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ今、社会人基礎力が求められるか。 ・1回目：「紙タワー」グループワーク ・アセスメントを用い、社会人基礎力の自己診断をする。 ・2回目：「紙タワー」グループワーク
会 社 名	NPO法人16歳の仕事塾

プログラム	⑩Nomuraビジネス・チャレンジ
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ■1時間目 ・起業家、イノベーションとは何か：過去の例や現在活躍する2人の若手起業家の映像を見て考える。 ・イノベーションが生まれる仕組み：イノベーションが生まれるプロセスの概説。 ■2時間目 ・イノベーションワークショップ：グループで課題を決めそれを解決するためのイノベーションを考え、発表する。 ・投資とイノベーション：イノベーションを発展させるための投資の役割を説明。
会 社 名	野村ホールディングス株式会社

プログラム	⑪自分の将来とお金の話
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・導 入：自分の生活とお金について考える。 ・展開①：将来どんな生活を送りたいか、就職後のライフコースに必要なお金を試算。 ・展開②：資産形成の方法を学ぶ。 ・まとめ：自分にとって最適な判断をするためには何が必要かを考える。
会 社 名	野村ホールディングス株式会社

プログラム	⑫投資って何？
内 容	<p>導入：自分たちに身近な消費から、会社の役割を考える。</p> <p>展開①：会社が世の中に役立つ商品・サービスを作るために必要な事を考察</p> <p>展開②：投資が社会に果たす役割を、実際の会社を例にあげて紹介</p> <p>展開③：グループ学習。新しいビジネスを起こす起業家とそれを応援する投資家の立場を体験することで、情報を関連づけ活用する「情報活用能力」や、「思考力・表現力・判断力」を育成する。</p>
会 社 名	野村ホールディングス株式会社

プログラム	⑬妊娠・不妊に関する出前講座
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産・不妊に関する知識について。 ・避妊・性感染症・男女の性に対する意識差について など。
会 社 名	埼玉県保健医療部健康長寿課

プログラム	⑭くすり、製薬会社の仕事について
内 容	<p>糖尿病治療薬を創製した化学と生物の研究者が、くすり創りの仕組みを紹介。</p> <p>化学系</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くすりとは何か（病気の原因物質に結合し、阻害/活性化する化学物質） ・医薬品の研究開発（医薬品を生み出すには、長い時間と多くのお金が必要） ・特許で守られる新薬（「特許」の切り口から社会の成り立ちを紹介） ・創薬化学の仕事（分子模型を用いて化学構造が持つ働きを考える） <p>生物系</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製薬会社の研究職とは（薬学部だけではない・様々な分野の専門家・女性も多い） ・創薬研究から製造承認申請まで（生物系研究者が薬づくりに果たす役割） ・田辺三菱製薬の創薬（新規機序糖尿病治療薬のパイオニア）
会 社 名	田辺三菱製薬株式会社

プログラム	⑮企業経営者との意見交換
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者から、創業時の思い出、経営理念、エピソード、成果を出し続ける工夫等を学ぶ。 ・経営者と社会貢献や人材育成等について意見交換を行う。
会 社 名	株式会社アドバンスサービス

プログラム	⑯現役社長、または人事部長から学ぶ「おもしろい人生の描き方」（参加型授業）
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様が喜び、社員が喜び、社会が喜びという「ALLWIN」という企業理念やホスピタリティを重視した企業の現場が実践している社員教育などを学ぶ。 ・日経ビジネス誌に取り上げられた社会貢献活動や社内のユニークな取組などを学ぶ。 ・人材育成等について意見交換を行う。 ・社会人（働く）に必要な考え方やビジネススキルを学ぶ。
会 社 名	CSリレーションズ株式会社

プログラム	⑰「一生使える探究のコツ」
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・実践の手引き〈基礎編〉 探究活動の流れを辿れる、導入編教材。 最終的に、高学年で自ら問いや課題を設定する探究活動に臨むために、その前段階までを段階的にサポート。 ・思考の手引き 探究の質を上げるための思考力（論理的・批判的思考、仮説思考）を鍛える教材。
会 社 名	株式会社トモノカイ

プログラム	⑱「未来をつくろう！」 新しいアイデアを創出して、ビジネスを立ち上げる！
内 容	<ul style="list-style-type: none"> • 新しいビジネスアイデアを創出するためのポイントを、クイズやミニワークショップを通じて自らカラダとアタマを動かして、楽しさを実感してもらう。 • グループワーク、または個人に対する宿題として、社会課題や世の中のトレンドに対して、新しいビジネスアイデアを考えてみる。その上で、良いアイデアを選定し、事業プランまで作って社会人に対してプレゼンテーションを行い、評価してもらう。 (良いアイデアを出してくれたグループには、丸紅グループの現場をみってもらう) • 事業紹介動画 (https://www.marubeni.com/jp/insight/) をご覧頂き、弊社が世界で手がけるビジネスを知って頂いた上で、ビジネス界で起こる変化と会社の挑戦課題である「既存の枠組みを越える」必要性を簡単に説明。 • 中高生として、自分は今何をすべきか、これからどのような目標をもって取り組んで生きたいか、各個人・グループにより発表してもらう。
会 社 名	丸紅株式会社

プログラム	⑲「世界のことばで話そう！」～多言語・多文化・多様性を楽しむ！～
内 容	<p>■中、高等学校（45分）の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本日のテーマ確認：人間は誰でも、生まれ育つ地域や飛び交っている環境のどんな言語でも、自然に習得できる、話せるようになる。ポイントは聞こえたとおりの言語の全体をまねること♪ • 世界のことばでご挨拶：何語でもまねる • 世界の歌でゲームなど全身で楽しもう：音から、何語でも、世界のことが近くなる • 世界の国からタイム：言語交流研究所研究員のホームステイ、ヒッポ高校留学生などのチームに分かれて 体験や言語をシェア (例) メキシコ/ロシア/韓国/台湾/アメリカ/フランス/など 学校生活やホストファミリーとコミュニケーションできるようになることを通して、こころを開くこと、相手をうけいれること、何語でも話せるようになることを、体感する。 • グループワークで学んだことを発表。各グループで楽しんだ言語でご挨拶にもチャレンジ (各グループ1分ぐらい) • どんな人、どんな言語にも壁をつくらず、まず自分から相手に声をかけ、未来を拓いていこう！のメッセージ • 本日のプログラムの感想シェア • 対応できる言語等：スペイン語・韓国語・英語・日本語・フランス語・中国語・ドイツ語をベース、イタリア語・ロシア語・タイ語・マレーシア語・ポルトガル語・インドネシア語・広東語・アラビア語・ベトナム語など
会 社 名	(一財) 言語交流研究所 ヒッポファミリークラブ

プログラム	⑳すぐろくで将来を体験！ライフサイクルゲームⅡ～生涯設計のススメ～
内 容	<ul style="list-style-type: none"> • 「ライフサイクルゲームⅡ～生涯設計のススメ～」実施。 • 若者向けの消費者被害事例を学ぶ。 • 消費者として必要な知識を学ぶ (クーリングオフ、食品ロス、結婚費用など)。 • ライフイベント表から人生設計を考える。
会 社 名	第一生命保険株式会社

プログラム	⑳自己肯定感とコミュニケーション力UPで、生きる力・社会に出て行く力を磨く
内 容	・ワークショップ形式で体感させるのが特徴。生徒同士2人一組ずつで行う。 「笑顔で挨拶練習・ほめあうゲーム・感謝表現の練習・励ます実践（互いに言われて力を受ける言葉を言い合います）・感想・とりまとめ」。
会 社 名	特定非営利活動法人日本ピーススマイル協会

プログラム	㉑生徒参加のパネルディスカッション
内 容	・パネリストになる高校生と面談して知識と進め方を事前に検討。 ・パネルディスカッションは基調講演20分、壇上のパネリスト生徒との討議30分。 ・会場全体講義40分まとめ10分。 ・上記および振り返りシートへの記入により、社会には一つの正解はない、主体的に発言することの大切さを実感する。
会 社 名	一般社団法人ディレクトフォース

プログラム	㉒企業経営者との意見交換
内 容	・経営者から、社会に出ると言うことは何を意味するか学ぶ。 ・経営者と将来の環境変化について意見交換を行う。 ・人生100歳の設計を考える。
会 社 名	一般社団法人ディレクトフォース

プログラム	㉓授業支援プログラム ～ボードゲーム【ブルサ】～
内 容	ボードゲーム「ブルサ」 <2時限>（50分×2コマ） *基本2時限続けての授業 【体験型】教材「ブルサ」を使用 <導入> 1クラスを4～6人のグループに分ける。 <展開> 各グループごとにゲームを競う。 ・ルール ①所持金 200万円 ②ニュースに基づき、次の3社の株式を売買。 ・自動車製造の会社 ・小売業の会社 ・衣料品製造小売業の会社 ③5問から10問のニュース。 (授業時間によって設問数は変わる。) ・ヒット商品 景気回復 GDP拡大 円高円安 など ④各ニュースごと 生徒たちは、そのニュースが各会社にどのような影響を与えるか考え株式を売買。 ⑤株価変動の結果を発表しニュースの解説。 ⑥すべてのニュースの後、最終取得金額が一番多い人が優勝
会 社 名	東京証券取引所

プログラム	②⑤授業支援プログラム ～シェア先生の経済教室～
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・「株式会社の仕組みと証券市場」 <1時限> (50分×1コマ) 【講義形式】ロールプレイを交えた参加型授業で経済の三主体(政府・企業・家計)や会社の仕組みとその機能について学ぶ。 ・「社会や経済の動きと株価」 <1時限> (50分×1コマ) 【講義形式】新聞やニュースなどを題材に、社会や経済の動きと企業業績・株価変動の関係について学ぶ。
会 社 名	東京証券取引所

プログラム	②⑥表現を通じて学ぶ、異文化理解・多様性「世界のダンス教室」
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の各地のダンス(アフリカ/ヨーロッパ/アジア/アメリカ等)の体験・創作 ・その地域ごとの文化学習 ・発表 <p style="text-align: right;">※人数規模・時間数によってアレンジが可能</p>
会 社 名	NPO法人コモナビート

プログラム	②⑦英字新聞制作プロジェクト
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ決定(例:地域紹介、課題研究、学校紹介など) ・役割分担とチーム編成(5～8程度のチームで、取材、記事作成を行う。) ・取材とその結果の共有(情報の不足や重複をお互いに指摘する) ・記事作成とその共有(お互いに内容を確認する) ・紙面レイアウト
会 社 名	一般社団法人グローバル教育情報センター

プログラム	②⑧“届けよう、服のチカラ”プロジェクト
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニクロ・ジーユーによる「全商品リサイクル活動」(着なくなった衣料を回収し国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)の協力を得て難民キャンプに寄贈する活動)を、教育機関向けに拡大した学習支援プログラムが、“届けよう、服のチカラ”プロジェクト。 ・回収する衣料は「子ども服(ベビーから160センチまで)」になりますので、児童生徒が地域とつながるきっかけを作るとともに、回収方法や呼びかけなどを考え、行動することで国際的な貢献活動を体験。 <ol style="list-style-type: none"> ①出張授業: ユニクロ・ジーユー社員が学校を訪問。“服”がテーマの出張授業。 ②校内・地域へ呼びかけ: 校内や地域に呼びかける方法を、子どもたち自身が考え、実践。 ③回収・発送: 実際に服を回収したのち、指定の倉庫に発送。 ④報告: 難民キャンプへの寄贈の様子を、ユニクロ・ジーユーからフォトレポートで報告。
会 社 名	株式会社ファーストリテイリング(ユニクロ・ジーユー)

プログラム	②9 社会で求められるコミュニケーション力と漢字の重要性
内 容	<p>日々無意識に使っている日本語・漢字について、身近な例と解説・クイズを通して考え、体感することでその魅力に気づく。また、スマートフォンでの変換ミスやRPGゲームなど、生徒の興味を引くテーマを用いたり、クイズなど参加型の時間をとることで、最後まで集中して生徒が講義に参加できる。</p> <p>～目次～</p> <p>◎ 第1部 日本語の特性を体感しよう</p> <p>～第1章 日本語と外国語の比較</p> <p>～第2章 日本語における漢字の役割</p> <p>◎ 第2部 漢字の奥深さを知ろう</p> <p>～第1章 漢字の歴史</p> <p>～第2章 常用漢字とは</p> <p>◎ 第3部 働くうえで求められる日本語力</p> <p>～第1章 驚くべき社会の変化</p> <p>～第2章 コミュニケーション力の重要性</p> <p>～第3章 社会で求められる力</p>
会 社 名	公益財団法人 日本漢字能力検定協会

プログラム	③0 ～社会に出てからも活用できる～ 伝わる文章作成の“コツ”
内 容	<p>社会変化や将来求められるコミュニケーション力について学び、社会に出てから必要なコミュニケーション力の基礎として、文章力の必要性を理解する。社会に出るまでに身につけたい文章力の基礎を学び、その後の学習につなげる。プログラムは社会人の視点を多く入れてあるため、キャリア教育に活用することも可能。</p> <p>～目次～</p> <p>1) 社会で求められるコミュニケーションの特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変化の大きい社会環境 ・社会ではどんな文章が求められる？ <p>2) 論理的文章を書くためのコツとは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章作成の際に心がけたい3つのポイント <p>3) 文章読解・作成能力検定（文章検）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章検のご紹介
会 社 名	公益財団法人 日本漢字能力検定協会

プログラム	③1 出張授業/学習訪問
内 容	<p>○出張授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業や学年行事及び全校行事に講師を派遣 ・学生団体SOARと連携し、当協会製作のワークショップの活用も可能 <p>※詳細は『難民についての授業の広場』 (https://www.japanforunhcr.org/archives/forteachers) 参照</p> <p>○学習訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行・研修旅行・社会科見学時にグループごとに事前学習 ・当協会に来訪時に質疑応答形式の学習活動で理解を深める
会 社 名	特定非営利活動法人 国連UNHCR協会

プログラム	③②わくわくどきどきミルク教室（食育活動）
内 容	<p>○乳牛、酪農への理解を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物である牛が牛乳を出している ・乳牛（メス）が子牛を産んで、乳が出る <p>○牛乳の栄養について学び、自分の成長に牛乳が役立つことに気づく</p> <p>○体験 例：麦茶ミルク・簡単なおやつ作り（シリアルボール・フルーツ白玉）・バター作り</p> <p>※連動 他の教科(国語・理科・社会科) 牧場体験や工場見学などの事前・事後学習</p>
会 社 名	一般社団法人日本乳業協会

プログラム	③③AFS国際理解教育出前授業 ～異文化を学ぼう～
内 容	<p>■留学体験者を講師にしたプレゼン+ワークショップ授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校留学をした大学生が留学中に体験した課題に対しての考えをプレゼンし、それを聞いた生徒たちにディスカッションをしてもらったり、ワークショップをしながら自分たちで考えをまとめて発表してもらおうアクティブラーニングの形式で授業を行います。 ・テーマとしては「貧困」「難民」「宗教」「ジェンダー」「環境」など先生とも相談しながら決めていきます。 <p>■受入生を講師にした授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入生が日本での生活を通して体験した母国と日本との違い（学校生活、家庭生活、習慣、文化、考え方など）についての気づきをプレゼンしての授業を行います。 <p>■社会人帰国生による講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AFS体験をした2万人以上の帰国生の中には財界、メディア、医療、教育関係など様々な分野で活躍している方がたくさんいます。その方たちに留学を通して身につけた文化的多様性・寛容性が社会で仕事をする際にどのように活かされているかという視点に基づきテーマに沿った講演をすることができます。 ・テーマ、内容、開催時期などに関しては学校と相談しながら決めます。 <p>■国内外の進学セミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校留学の経験を通して学んだことをどのように進路に活かしていったか。 ・留学中に体験した出来事を通し問題意識を持ち進路を決めていったケースなどの事例を紹介しながら進学セミナーを行います。
会 社 名	公益財団法人AFS日本協会

プログラム	③④首都圏外郭放水路を軸とした春日部市観光誘致アイデア募集
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの理解 ・春日部市観光基本計画や、首都圏外郭放水路の活用意義を理解 ・自治体課題の把握、春日部市の観光実態調査、魅力発見（気づき） ・春日部市内のフィールドワーク・他県事例視察 ・春日部市内の大学生や企業とのグループワーク ・課題解決に向けたワーク ・成果物(案)のデザイン、校内プレゼン、各校発表アワード ・観光事業への落とし込み。自治体・企業と連携、生徒の関わり協議→採用可否 ・効果測定（アンケートの継続実施）PDCA <p>※以上は事例の一部であり、学校ニーズや方針によりアレンジ対応。</p>
会 社 名	東武トップツアーズ株式会社

プログラム	③⑤出張介護授業
内 容	<p>学校の要望に応じて企画いたします。</p> <p>例）・福祉の仕事に関する概要説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手介護職員のお話（仕事の内容、やりがいなどの体験談） ・簡単な介護体験（車椅子操作など）
会 社 名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会

プログラム	③⑥就労支援研修（接客業体験）
内 容	<p>○「接客」について考える ー良い接客って何だろう？ー</p> <p>○レジ・接客体験 ー本物のレジをさわってみよう！ー</p>
会 社 名	株式会社セブンーイレブン・ジャパン

プログラム	③⑦自分のオリジナルキャッチコピーを創ろう
内 容	<p>この授業では考えを発散するコト、考えを収束することを行います。</p> <p>自分の性質に近いワードを沢山見つけて、それを繋ぎ合わせることで自分を表現することを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自分のことをいろんな視点から言語化してみる ②様々なカードと自分の共通点を探す ③①・②を組み合わせる自分のオリジナルキャッチコピーを作る ④全体でシェアしながら、新しい自分への視点を深めていく
会 社 名	Japan Education Lab

プログラム	③⑧探してみよう！半径5mの社会課題
内 容	<p>■1コマ目<社会課題の発見></p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の社会課題から自分たちの身の回りにある社会課題について考える授業。 実は自分たちの身の回りにも社会課題は多く点在していることを知り、どんなことに興味があるか考えてもらう。 <p>■2コマ目<社会課題の分析></p> <ul style="list-style-type: none"> 目の前にある課題がどのようにして発生しているのかを考えてもらう授業。 社会課題を分析するには論理的思考能力が必要になってくる。具体と抽象のワークを通しながら周りのリソースを活用して分析をする。 <p>■3コマ目<理想の設定></p> <ul style="list-style-type: none"> 目の前にある課題について、どのような状態が理想になりえるのかを考えてもらう授業。 ただ、自分だけではなくその課題をとりまく人たち全員がハッピーになれるようなモノを考え、影響まで策定する。 <p>■4コマ目<ハードル原因の分析></p> <ul style="list-style-type: none"> 理想状態にたどり着くまでのハードルとそのハードルを生み出している原因について分析する授業。 現状の課題が理想にいかないということはハードルが存在し、そのハードルを生み出している原因がある。その原因をつきとめる。 <p>■5コマ目<解決策の提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ハードルを生み出している原因に対して解決策を考える授業。 どういう解決策を考えれば、原因を解消し現状が今よりも理想に近づけるのかを考える。 <p>その後は発表やプレゼン指導など、充実したアウトプットまで授業で展開させていただきます。</p>
会 社 名	Japan Education Lab

プログラム	③⑨人を惹きつける伝えかた
内 容	<p>■1コマ目<伝えるってなんだろう></p> <ul style="list-style-type: none"> そもそも人に伝えるってどういうことなのか、プレゼンが上手い人の例を参考にしつつ、普段の自分たちの身の回りにおいても様々なところでプレゼンが使われていることを知ることで、何をどう伝えるのが重要なのかを知る。 <p>■2コマ目<伝える材料を揃えよう></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が相手に伝えるときに何を伝えればいいのか、何を知ってほしい・アクションしてほしいのかを基に自分の中にあるプレゼンの材料を見つけていく。 <p>■3コマ目<ストーリーを考えよう></p> <ul style="list-style-type: none"> 限られた時間の中でどのような展開の構成をするのかを考える。漫画を基に限られたページ（時間）を有効活用できるようなストーリーを描き上げていく <p>■4コマ目<しゃべり方を考えよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ただしゃべるだけでは伝わらない。身振り手振りはもちろん、話の内容によっては必要なコトも変わってくる。聴衆を巻き込んでいくための術を身に付けていく。 <p>■5コマ目<プレゼン大会></p>
会 社 名	Japan Education Lab

プログラム	④⑩高校生と連携した消費者問題学習・防止プロジェクト
内 容	①生徒は不当表示広告等の消費者問題を学ぶ（講師：県消費生活課職員等） ②学習後、事後学習として「不当表示広告調査票」の作成をし、県に提出をする ③県は生徒から提出された調査票に記載されている事業者を調査し、不当表示を行っているおそれがある場合は行政指導等を実施する
会 社 名	埼玉県県民生活部消費生活課

プログラム	④⑪SDGsに対する企業の取り組み～今できる事から始めよう～
内 容	・私たちを取り巻く状況 ・企業理念、重要課題に取り組みを一部ご紹介 ⇒自分に出来る事は何か考える。
会 社 名	株式会社ファミリーマート

プログラム	④⑫生活設計とリスクへの備え
内 容	・パワーポイント教材を用いて、様々なライフイベントにかかる費用、リスク管理の手段として、社会保険の概要や自分で備える預貯金や民間の保険について学ぶことができます。 ・授業はクイズやワーク形式で行います。50分×2コマの場合は、2コマ目でライフプラン表を作成する作業を実施することも可能です。 ・生徒自身がライフサイクルをどう歩んでいくか、そこにかかる費用をどう準備していくか、主体的に考えることを目標とします。
会 社 名	公益財団法人 生命保険文化センター

プログラム	④⑬事例から考えるリスクマネジメント
内 容	・パワーポイント教材を用いて、例えば骨折をして入院をする場合等、事例を交えて必要となる費用から、社会保険の概要や自分で備える預貯金や民間の保険について、わかりやすく解説します。 ・生徒がワークシートに記入しながら授業を受け、生徒自身が主体的にリスク管理について考えることを目標とします。
会 社 名	公益財団法人 生命保険文化センター

プログラム	④⑭自助・共助・公助について考えよう
内 容	・パワーポイント教材を用いて、少子高齢社会の現状から考えられるリスクについて学び、「自助・共助・公助」のそれぞれの内容について、わかりやすく解説します。 ・社会保障制度の概要や自分で備える預貯金や民間の保険について学びます。 ・生徒がワークシートに記入しながら授業を受け、持続可能な社会を形成していくために自助・共助・公助をどのように組み合わせればよいか、生徒が自らの考えをまとめられることを目標とします。
会 社 名	公益財団法人 生命保険文化センター